

「標準的な運賃」についての実態調査票（案）

トラック輸送における取引環境・労働時間改善

岡山県地方協議会

問1. 貴社の概要をご記入下さい。

貴社名		ご担当者	(役職)
住所			(氏名)
			(電話番号)

問2. 保有する事業用車両台数をご記入下さい。

車種区分	保有台数
小型車（2トンクラス）	台
中型車（4トンクラス）	台
大型車（10トンクラス）	台
トレーラー（20トンクラス）	台
合計	台

※トラックは上記保有台数から除くとともに、車種区分の詳細については以下をご参照下さい。

小型車(2 tクラス)	中型車(4 tクラス)	大型車(10 tクラス)	トレーラー(20 tクラス)
最大積載量2トン以下	最大積載量2トン超かつ車両総重量11トン未満	中型車を超える車両（トレーラーを除く）	けん引車と被けん引車を連結した車両であって最大積載量が20トン前後のもの

問3. 取扱いの輸送品目（荷主等から運送を依頼されているもの）について、該当する品目の番号すべてに○印を付けて下さい。

- | |
|--|
| 1.建設資材 2.鉄鋼 3.機械、機械部品 4.金属、金属製品 5.石油製品 6.化学品
7.セメント、窯業品 8.木材 9.紙、パルプ 10.繊維工業品 11.日用品
12.農産品 13.水産品 14.畜産品 15.食料工業品 16.くずもの 17. 廃棄物
18.動植物性飼肥料 19.輸送用容器 20.取り合せ品 21.その他（ ） |
|--|

・上記のうち売上高の最も高い輸送品目の番号をご記入下さい。⇒ _____

問4. 取引の形態等について以下にご回答下さい。

・貴社の取引上の主な立場として、当てはまるものの番号一つに○印を付けて下さい。

- | | |
|-------------------|----------|
| 1. 自社が元請けとして受けている | 2. 1次下請け |
| 3. 2次下請け | 4. 3次下請け |
| 5. 4次下請け以降 | |

- ・継続的に取引関係にある委託元事業者の数をご記入下さい。⇒ _____者
- ・荷主区分（委託元）ごとの大まかな売上構成をご記入下さい。

荷主区分	売上割合
真荷主（メーカー、卸小売業者 等）	() %
元請けのトラック運送事業者	() %
利用運送事業者	() %
その他 ()	() %
合 計	100 %

問5. 委託元と契約している運賃体系について、主なものの番号一つに○印を付けて下さい。

- | | | |
|--------------|--------------|----------|
| 1. 貸切（距離制運賃） | 2. 貸切（時間制運賃） | 3. 個建て運賃 |
| 4. 特別積み合せ運賃 | 5. その他 () | |

問6. 運賃の決定方法について、最も当てはまるものの番号一つに○印を付けて下さい。

- | | |
|----------------------------------|----------------------|
| 1. 委託元が提示するものをベースに決定 | 2. 自社の原価計算の結果をベースに決定 |
| 3. 過去から適用してきた水準に基づき決定 | 4. 「標準的な運賃」をベースに決定 |
| 5. 平成2年認可運賃等、国が過去に示していたものをベースに決定 | |
| 6. その他 () | |

問7. 現在の運賃に関する問題点としてどのようなことがありますか。該当するものの番号すべてに○印を付けて下さい。

- | |
|--|
| 1. 事業継続に必要なコストを賄える運賃が収受できない |
| 2. 割増条件に該当しても運賃に上乗せできない |
| 3. 取引先都合による変更（ルート、時間等）があっても追加料金を収受できない |
| 4. 取引先から一方的に運賃料金を下げられることがある |
| 5. その他 () |
| 6. 特に問題はない |

問8. 貴社が今後も事業を継続していくにあたって必要なコストに対し、現在運賃として収受できている割合はどれくらいですか。感覚として当てはまる数字をご記入下さい。

⇒ 必要なコストに対して _____ 割程度

問9. 「標準的な運賃」告示では、運賃と別に料金（待機時間料、積込・取卸料、附帯業務料）や実費（有料道路利用料、フェリー利用料等）を収受することとなっています。以下の費用のうち、十分収受できているもの及び収受できていないものそれぞれに分けて番号をご記入下さい。

- | | | | |
|------------|-------------|------------|------------|
| 1. 待機時間料 | 2. 積込・取卸料 | 3. 附帯作業料 | 4. 有料道路利用料 |
| 5. フェリー利用料 | 6. 燃料サーチャージ | 7. その他 () | |

・十分収受できているもの ⇒ _____

・十分に収受できていないもの ⇒ _____

問10-1. 最近(直近3年間程度)、取引先と運賃の見直しについて交渉を行いましたか。どちらかの番号に○印を付けて下さい。

1. 行った→問10-2、10-3を回答下さい 2. 行っていない→問10-4を回答下さい

問10-2. 交渉を行うにあたりどのような資料を取引先に提示しましたか。該当するものの番号すべてに○印を付けて下さい。

1. 原価計算を行った結果に関するデータ
2. 原価計算の元になる費用(人件費、燃料費、保険費等)に関するデータ
3. 稼働時間、走行距離、労働時間等の運行に関するデータ
4. 自社の損益(赤字、黒字)に関するデータ
5. その他()

問10-3. 交渉の結果、貴社の要望ほどの程度受け入れられましたか。感覚として最も当てはまるものの番号一つに○印を付けて下さい。

1. ゼロに近く、ほぼ受け入れられなかった
2. 2~3割程度は受け入れられた
3. 半分程度は受け入れられた
4. 7~8割は受け入れられた
5. 9割もしくはほぼすべて受け入れられた

問10-4. 交渉を行わなかった理由として該当するものの番号すべてに○印を付けて下さい。

1. 交渉することで仕事を減らされたり、取引関係を解消されたりする恐れがあるから
2. 交渉することで運賃料金を下げられる恐れがあるから
3. 交渉するための材料(説明資料等)を取引先に提示できないから
4. 交渉しても効果がないと感じているから
5. 交渉するにあたってのノウハウ(進めかた)が分からないから
6. 自社の状況を踏まえ運賃料金を変更する必要性がないから
7. その他()

問11-1. 「標準的な運賃」を取引先に提示して交渉したことはありますか。どちらかの番号に○印を付けて下さい。

1. 交渉した→問11-2を回答下さい 2. 交渉していない→問11-3を回答下さい

問11-2. 交渉において、「標準的な運賃」に対する取引先の反応、結果はどうでしたか。感覚として最も当てはまるものの番号一つに○印を付けて下さい。

1. 「標準的な運賃」をベースにした運賃料金を収受できるようになった
2. 趣旨は理解してくれるが、実際の運賃料金に反映させるのは難しいと言われた
3. 今後の取引先の状況が好転すれば応じてもらえる可能性がある
4. 趣旨を理解しようとしてせず、「標準的な運賃」を受け入れる気配がない
5. その他()

問1 1-3. 「標準的な運賃」を用いた交渉を行っていない理由について、当てはまるものの番号すべてに○印を付けて下さい。

1. 現行の運賃料金で利益が十分に確保できているから
2. もともと「標準的な運賃」と同等の額を収受できているから
2. 現行の運賃料金を変更するという作業が業務量を鑑みると負担となるから
3. 「標準的な運賃」を持ち出すことで取引関係に悪影響が出ることを懸念しているから
4. 「標準的な運賃」を提示しても効果が無いと感じているから
5. その他 ()

問1 2. 今般、燃料価格の高騰が続いていますが、「燃料サーチャージ」に関する貴社の対応として、最も当てはまるものの番号一つに○印を付けて下さい。

1. 従来から燃料価格が上昇した際は速やかに運賃に反映できている
2. 自社と委託元双方の状況を踏まえ、場合によっては運賃に反映できることがある
3. 運賃に反映するよう交渉は行っているがなかなか聞き入れてもらえない
4. 実際の運賃に反映できる可能性が低い等の理由によりそもそも導入していない
5. その他 ()

問1 3. 運賃料金全般に関して、お考えやご意見がありましたらご記入下さい。

(例：適正運賃収受に向けた自社の取組、行政への要望、業界全体で必要なこと 等)

◆本アンケートへのご回答について、電話によるヒアリングにご協力いただくことはできますか。どちらかの番号に○印を付けて下さい。ヒアリングにご協力をお願いする場合にはあらためてご連絡させていただきます。

1. ヒアリングに協力できる
2. ヒアリングに協力できない

～アンケート調査にご協力いただき誠にありがとうございました～